

「谷中佑輔 吊いの選択」展

会期：2024年12月7日（土）－2025年3月23日（日）十和田市現代美術館



「谷中佑輔 吊いの選択」メインビジュアル デザイン：上西祐理

彫刻とパフォーマンスの領域を横断して活動するアーティスト谷中佑輔の美術館初個展

十和田市現代美術館では、2024年12月7日（土）－2025年3月23日（日）の会期で、アーティスト谷中佑輔の個展「吊いの選択」を開催します。

関西出身でベルリンを拠点に活動してきた谷中佑輔は、人間の身体を自律したものではなく周囲からの影響を受ける存在として捉え、環境や他者との関係性の中で身体がどのように現れうるかについて、彫刻やダンス、パフォーマンスなどの領域を横断しながら表現してきました。

美術館での初個展となる本展では、老いや病気、怪我、障害といった全ての身体が本質的にはらむ脆弱性と、それを克服しようと日々進化する医療技術が私たちに抱かせる欲望や儂い希望、また必ずしも思い通りにならない脆さを抱えながら生きることなどについて考察し、新作のインスタレーションや彫刻、映像インスタレーション、パフォーマンスを発表します。

展覧会タイトルの「吊い」という言葉には、時とともに怪我や病気、老化、死によって不可避的に失われていく身体の機能に対して、私たちはどのようにその喪失と向き合いながら生きていくことができるのかという問いが込められています。完全な治療や回復の見込みがない場合でも、私たちは日々変わりゆく現実に折り合いをつけながら生きていかなければなりません。健康な人もそうでない人も、誰もが囚われているこの不確かで不安定な身体について、あらためて見つめ直す展覧会となるでしょう。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 展示構成 】

日本未公演のパフォーマンス作品《Gallop》をインスタレーションに変換して発表

2022年にベルリンでパフォーマンスとして初演した《Gallop》を、彫刻を用いたインスタレーションとして再制作します。《Gallop》は作家の弟が事故にあったことをきっかけに構想された作品で、弟が失ってしまった身体能力やあり得たかもしれない未来の可能性を、谷中がどのように弟と共に「弔う」ことができるのかを考える中で生まれた作品です。会期の初めには、インスタレーション内で作家によるパフォーマンスも行います。



参考図版《Gallop》2022年
ダンス、90分
撮影：Urška Boljkovac

パフォーマンス《空気まぐれ》の記録映像を上映

谷中は、音を媒介する空気という物質が聴覚障害者と健常者の身体に対してどのように作用するのか、またその「空気」を通して聴覚障害者と健常者はどのようにコミュニケーションすることができるのかをテーマに、2023年にパフォーマンス《空気まぐれ》を横尾友美、山本ゾフィ優里歌らと制作しました。本展では、バリアフリー字幕付きでパフォーマンスの記録映像を上映し、パフォーマンスに登場するオブジェクトと合わせて展示します。



参考図版《空気まぐれ》2023年
ダンス、60分
撮影：松見拓也

再生医療についてのリサーチから新作の彫刻を発表

幹細胞を培養して人体の臓器や組織を再生させる先進的な再生医療についてのリサーチから、谷中は身体を部分へと分割してまなざす発生医学の視点に着目しました。医療器具をモチーフにした金属の部品や、腐食させたブロンズ、内臓を思わせるような有機的なガラスの量塊などを組み合わせ、医療のサポートを受けながら生きる現代の人間の身体性について彫刻を通して探究します。

【 作家メッセージ 】

生きてると色んなことが起こり、十和田市現代美術館で個展を開いていただけることになりました。とても嬉しく、幸せに思っています。美術館での個展は美大の学生の頃、ひいては10代の頃に美術作家を志そうと思った頃、もしかすると6歳くらいの頃に絵描きになろうと思った頃からの夢でもあります。僕は絵描きになる夢を諦め、彫刻家になることを目指しました。さらにその中でパフォーマンス表現に出会い、ダンスも始めました。「弔いの選択」展では最近の3つのプロジェクトを紹介する予定です。

身体についての関心は、色んな形をとりながら自分の制作活動の中で繰り返し現れてきました。幼少期の頃に自分自身の病弱な身体へのコンプレックスがあり、それを超えたいという欲望がきっかけとしてあったのだと思います。強く壊れない身体を求めることは年月の経過とともにリアリティを失い、代わりに身体の脆弱性の中にある可能性を見ることに最近に関心を持っています。そういった身体の中にある脆さや不確かさについて、作品から読み取っていただければ嬉しく思います。

谷中佑輔（たになか・ゆうすけ）



撮影：前谷開

1988年大阪府生まれ。2012年、京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業。2014年、京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。ドイツ、ベルリンを拠点に、彫刻とダンスを主な表現形式として作品制作を行い、展覧会や舞台公演を横断しながら作品を発表している。近年の主な作品発表に《空気まぐれ》（京都芸術センター、2023年）、《Gallop》（Uferstudios、ベルリン、2022年 / 国際ダンスフェスティバル Co-festival 2022、リュブリャナ、スロベニア）。主なグループ展に「DOMANI・明日展 2022-23」（国立新美術館、東京、2022年）、「セレブレーション-日本ポーランド現代美術展-」（京都芸術センター / Dom Książki、ポズナン、ポーランド、2019年ほか）など。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【パブリック・プログラム】 ※会期中、下記の他にもプログラムを予定しています。詳細は後日 web サイトにて発表します。

パフォーマンス《Gallop》

日時：2024年12月7日（土）、8日（日） 16:00 - 16:30

会場：十和田市現代美術館 企画展示室 / 料金：無料 ※要企画展チケット

谷中佑輔と担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2024年12月8日（日） 14:00 - 15:00

会場：十和田市現代美術館 企画展示室 / 料金：無料 ※要企画展チケット

担当学芸員による手話付きギャラリートーク

日時：2025年1月19日（日） 14:00 - 15:00

会場：十和田市現代美術館 企画展示室 / 料金：無料 ※要企画展チケット

【開催概要】

展覧会名： 谷中佑輔 弔いの選択

会期： 2024年12月7日（土） - 2025年3月23日（日）

開館時間： 9:00 - 17:00（入場は閉館の30分前まで）

休館日： 月曜日（祝日の場合はその翌日）

年末年始休館：12月23日 - 1月1日、メンテナンス休館：1月20日 - 24日

会場： 十和田市現代美術館

観覧料： 一般1800円（常設展含む）、高校生以下無料

主催： 十和田市現代美術館

協賛： 株式会社メルコグループ

助成： 公益財団法人野村財団

協力： 一沢コンクリート工業株式会社、大阪中之島美術館

後援： 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、エフエム青森、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

企画： 外山有菜

【同時期開催】

本展の会期中に大阪中之島美術館にて、谷中佑輔の個展が開催されます。

「Osaka Directory 8 Supported by RICHARD MILLE 谷中 佑輔」

大阪中之島美術館の個展では発生学で研究される胚葉（胚の初期段階で形成される三つの細胞層）の身体の各組織や器官への分化・成長過程に着目し、科学的知識が私たちの身体観やイメージにどのような影響を与えるかについて考察する、金属やガラスを用いた彫刻作品を発表します。

会期： 2024年12月21日（土） - 2025年1月19日（日）

会場： 大阪中之島美術館 2階 多目的スペース

主催： 大阪中之島美術館、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

Webサイト：<https://nakka-art.jp/exhibition-post/osaka-directory-dir8/>

十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : media@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行



メインビジュアル



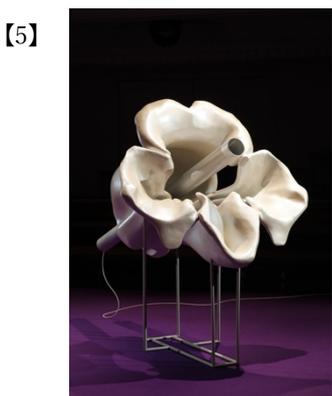
参考図版《Gallop》2022年
ダンス、90分
撮影：Urška Boljkovac



参考図版《空気まぐれ》2023年
ダンス、60分
撮影：松見拓也



参考図版《Pulp Physique #8》2022年
撮影：大塚敬太+稲口俊太



参考図版《ゴレ(ゴレ)の胴体》2019年
撮影：来田猛



谷中佑輔 撮影：前谷開



十和田市現代美術館

媒体名 _____

媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 (_____)

御社名 _____

御担当者名 _____

所在地 〒 _____

電話 _____

メールアドレス _____

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com